



信州には南信州をはじめ各地に特色のある祭り・民俗芸能が伝承されています。それは地域に暮らす人々の願いや楽しみを受け止めて、地域存続の力となり、その力は現在も持続しています。

今回の第3回南信州民俗芸能フェスティバルでは、祝福と祈りの神事芸能に端を発する三番叟をテーマに、長野県内で継承されている歌舞伎・能楽・人形操りの三番叟のうち、国・県の文化財に指定・選択されているものをすべてを一堂に集めて紹介します。

猿楽(能楽)のなかで中世後期に整えられた芸能が、各地で多彩な展開を遂げた姿と、信州における文化の進取性や創造の活力を探ります。

信州の三番叟―祝福と祈りの芸能

フェスティバル

民俗芸能

第3回 南信州

日程・内容

*時間は多少前後する場合がございます。

10:30～ 開会・セレモニー

10:50～ 第1部

講演「式三番と三番叟」 小川直之 氏
大鹿歌舞伎 三番叟(大鹿歌舞伎保存会)
湯原神社式三番(湯原神社式三番保存会)
12:15～ (昼休憩・南信州の民俗芸能 映像上映)

13:00～ 第2部

解説「信州の三番叟」 櫻井弘人 氏
親沢の人形三番叟(映像上映)(親沢区)
古田人形 三番叟(古田人形芝居保存会)
(休憩)
早稲田人形 三番叟(早稲田人形保存会)
黒田人形 三番叟(黒田人形保存会)
今田人形 二人三番叟(今田人形座)

15:10～ 講評 笹本正治 氏・宮田繁幸 氏

15:30 閉会

入場料
無料

令和 7 年

1月26日(日)

10:30～15:30(10:00開場)

会場 飯田市鼎文化センター

◆主 催：南信州民俗芸能継承推進協議会・信州アーツカウンシル・長野県

◆後 援：阿南町教育委員会・飯田市教育委員会・大鹿村教育委員会
小海町教育委員会・佐久市教育委員会・箕輪町教育委員会

◆お問い合わせ・お申し込み

南信州民俗芸能継承推進協議会(南信州広域連合事務局内)

TEL.0265-53-7100 FAX.0265-53-7155

予約なしの入場も可能ですが、
準備の都合上事前のお申込みに
ご協力ください。

詳しくは
こちら



信州アーツカウンシル



南・信・州
民俗芸能
Minamishinshu Folk Arts



※駐車場に限りがありますので可能な限り乗り合わせや公共交通機関をご利用ください。
※飯田市鼎体育館の駐車場はご利用できません。

この行事は南信州民俗芸能パートナー企業のご協賛により開催されます

NEXCO 中日本 高速道路株式会社 名古屋支社 飯田保全・サービスセンター

小林製袋産業株式会社 小木曾建設株式会社/KOA株式会社 下伊那ビジネスフィールド

飯田信用金庫/株式会社岳/勝間田建設株式会社/龍共印刷株式会社/中部電力パワーグリッド株式会社飯田支社

株式会社アド・ブレーション/阿南部品株式会社/飯田商工会議所/飯田短期大学/伊藤製菓有限公司/大平建設株式会社/木下建設株式会社/信州新野千石平道の駅(株)蔵/神稲建設株式会社/社会医療法人栗山会飯田病院/クロダ精機株式会社/コバック株式会社/株式会社下平組/長野県商工会連合会南信州支部/信菱電機株式会社/多摩川精機株式会社/株式会社長野銀行/飯伊森林組合/株式会社八十二銀行/株式会社南信州新聞社/宮下製氷冷蔵株式会社/吉川建設株式会社/株式会社吉野組/日本郵便株式会社南信南部地区連絡会内郵便局及び飯田郵便局

2050ゼロカーボンにむけた取り組み 車の乗り合わせやマイボトル持参など、環境にやさしい行動にご協力ください。

令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

第3回 南信州 民俗芸能 フェスティバル 出演芸能

大鹿歌舞伎 三番叟

〈国指定重要無形民俗文化財・
国選択無形民俗文化財〉

(下伊那郡大鹿村)

鹿塩梨原の葦原神社の御柱祭など特別なときに演じられる三番叟。舞手1人で「鈴の段」を演じる。拝礼、塩払いののち、「大入叶」と首を振り、口上、舞台の五方で足踏み、「三段跳び」、拝礼、見栄を切って終える。とくに七五三の足踏みに特徴がある。



湯原神社式三番

〈県指定無形民俗文化財〉

(佐久市湯原)

湯沢神社の秋祭(9月29日)に演じられる式三番叟。能楽の式三番叟の形態を色濃く伝え、千代(千歳・白式尉(翁)・黒式尉(三番叟)の舞手3人が演じる。そのうち黒式尉は、面を着けずに舞う「揉みの段」と、千代との問答、黒式尉面を着けて舞う「鈴の段」からなる。*正式には約1時間に及ぶ芸を35分に短縮して披露する。



親沢の人形三番叟

〈国選択無形民俗文化財・
県指定無形民俗文化財〉

(南佐久郡小海町)

諏訪神社の春祭(4月第2日曜日)に演じられる人形による式三番。千代(千歳)・大神宮(翁)・尉(三番叟)の3体からなり、千代・翁は一人遣い、尉は二人遣いとなる。この4人に笛2人・鼓4人・大鼓1人を加えた「弟子」12人が7年間務めたのち、「親方」を7年間、「おじつあ」を7年間、計21年間務める。*今回は映像と解説による。



古田人形 三番叟

〈県選択無形民俗文化財〉

(上伊那郡箕輪町)

箕輪町文化センターにて12月第1土曜日に定期公演される古田人形の人形三番叟。三人遣いで「揉みの段」と「鈴の段」からなる。一旦途絶えた三番叟を、昭和62年頃に親沢の人形三番叟や群馬県前橋市の「下長磯の式三番」など各地のものを参考にして、古田独自の三番叟として復活した。舞の途中で黒式尉の面を着け、舞台の五方を踏み固める。



早稲田人形 三番叟

〈国選択無形民俗文化財・
県選択無形民俗文化財〉

(下伊那郡阿南町)

早稲田神社の夏祭(8月第4日曜日)に演じられる三人遣いの人形三番叟。祭典では神前にて白装束の3人が奉納し、舞台での人形芝居の前には黒子衣裳の3人が上演する。そのほか、毎年1月第2日曜日には人形による行列を組んで村境へと疫病や悪霊を送り出す神送りが行われる。



黒田人形 三番叟

〈国選択無形民俗文化財・
県選択無形民俗文化財〉

(飯田市上郷)

下黒田諏訪神社の春季例祭(4月第2土曜日)に「下黒田の舞台」(国指定重要有形民俗文化財)にて演じられる三人遣いの三番叟。「鈴の段」のみがある。その操法は、天明から文政年間(1781~1829)頃に黒田に住み着いた淡路の人形遣い吉田重三郎が教えた手(型)を伝えるといわれる。



今田人形 二人三番叟

〈国選択無形民俗文化財・
県選択無形民俗文化財〉

(飯田市龍江)

大宮神社の秋祭10月第2土曜日(日)に「今田人形の館」にて上演される三人遣いの二人三番叟。昭和63年頃、淡路人形の吉田東太郎師匠を迎えて文楽の二人三番叟の伝授を受けて復活し、「鈴の段」を演じる。又平と検非違使の2体の人形が四方に種を蒔く所作などを、こっけいさを交えて舞う。



当日の昼食は
「からあげピリー」で
予約受付中です。



◆メニュー

からあげごはん(しょうゆ) 税込830円
からあげごはん(しお) 税込830円
からあげごはん(もも) 税込980円

1月25日までにご予約ください。
電話番号：0265-48-5013

- ホール内での飲食はできません。
- 昼食会場として3F「会議室1・2」、4F「大会議室」(合計150名程)を開放いたします。昼食を用意してご来場いただいた方または注文された方はこちらをご利用ください。